

あいさつ運動

久米南町立神目小学校

(児童54名 教職員14名)

タスキを つなごう あいさつ駅伝

～委員会(児童会)から あいさつの輪を 広げよう～

アピールポイント

神目小学校では、1日と10日、25日に学校・地域・保護者であいさつ運動をしています。「あいさつハイタッチ」や「あいさつ相撲」などの楽しい取組をして、あいさつの輪を広げています。

今年度は、昨年度の取組をバージョンアップして、さらにあいさつの輪を広げるため、児童会からあいさつ運動を発信しています。

2学期の取組は、「あいさつ駅伝！」です。

それぞれの児童会の委員会がオリジナルのあいさつ運動を1週間～2週間順番に行い、あいさつ運動のタスキを渡していきます。児童が自分たちで考えたあいさつ運動となり、楽しく笑顔で一日をスタートできました。

実際の様子



取組の概要

■児童の実態

あかるく素直であり、気持ちの良いあいさつができる。

■活動内容

4つの児童会の委員会がオリジナルのあいさつ運動を展開し、楽しみながらあいさつをする。

- ① 英語であいさつ運動(運営委員会)
- ② ハイタッチあいさつ運動(放送委員会)
- ③ なわとびあいさつ運動(体育委員会)
- ④ 方言あいさつ運動(図書委員会)

■取組の参加メンバー

委員会の児童を中心に、教職員、保護者、地域の方、学区見守り隊の方等

■成果・効果

高学年の児童(委員会に所属している児童)が、進んであいさつをすることができた。また、低学年の児童も、毎日楽しみにしており、あいさつを通してのコミュニケーションの楽しさや喜びを共有し合うことができた。